

平成 20 年度宮前区区民会議  
公園・地域づくり部会(第 5 回)

平成 20 年 10 月 27 日(月) 18 時～20 時  
宮前区役所第 1 会議室

次 第

開 会

1 議 事

( 1 ) 理想とする公園像について

( 2 ) 解決すべき課題について

2 その他

閉 会

配布資料

- 資料 1 公園・地域づくり部会(第 4 回)議論のまとめ  
資料 2 議論ペーパー

## 平成 20 年度宮前区区民会議 公園・地域づくり部会（第 4 回）摘録

日 時 平成 20 年 10 月 10 日（金）午後 6 時から 8 時

会 場 宮前区役所 1 階会議室

参加者 田邊部会長、佐藤委員、福本委員、目代委員、吉岡委員（以上、部会委員）  
永野委員長（オブザーバー）

田邊企画課長、成沢職員（以上、事務局）

福田研究員（コンサルタント）

関係者 板津昌且氏（鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会）、江頭秀夫氏（つくし野「公園あそび応援隊」）

## 開会（田邊企画課長）

## 第 3 回部会議論のまとめ（コンサルタント）

## 1. 議事

## （1）公園での活動に関する取組事例について

## 〔鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会 板津昌且氏〕

## 鷲ヶ峰公園の年表

昭和 42 年 稗原団地の自治会が創設され、43 年に公園が造成されました。昭和 46 年ころからバス停を含めた週 1 回の清掃をしており、今でも続いています。

昭和 53 年に、樽神輿の巡行を始めています。

昭和 55 年に、餅つき大会を始めました。

平成 15 年の痴漢騒ぎに端を発し、西部公園事務所のご好意により立派な花壇ができ、これからは、明るい・楽しい・良い公園・花壇に育てるのは、私達の努め」を前提とし、各種団体に花壇の守り方を相談しました。

結果、タコはシンボルなので壊せない、土地の段差は自治会がお金を出すなら、ということで、これも難しいということで、樹木の伐採だけをやってもらいました。

平成 16 年に、花壇工事が完了し、自治会や各種組織による花壇相談会を開催しています。

平成 18 年 3 月に、タコに落書きがありました。同 3 月に、管理運営協議会結成届けを出し、管理運営に関する協定書や活動計画書、役員名簿を出しています。

平成 19 年に、防災倉庫が設置され、20 年には、重機による枝おろしをしました。

## 稗原団地自治会のホームページ

タコ公園は 2 段になっており、上の段に花壇があります。TOP ページは、花壇の写真です。

## タコ滑り台

残念ながらここにはトイレがありません。時計もありません。ベンチが若干あり、ブランコがある程度です。タコが滑り台で、子どもが遊んでいます。

## 組織

自治会は、私が会長をしており、会計以下、総務部長、厚生部長、防災部長、交通部長、文体部長と続きます。楽生会として老人会の会長が入っています。「花で町を飾る会」という会があり、

代表者に入ってもらっています。

会長、副会長は年を越して担当しますが、部長クラスは一年ごとに変わり、それでは管理するのに大変だということで、3名の事務局を置いています。常時手入れをしていただいているのは、楽生会や花の会、事務局や自治会のメンバーです。

タコへの落書き・落書き消し・再度の落書き

大変な落書きがされました。それまでも何度か落書きがあり、塗りなおしても続いたんです。そこで私は、まず警察に通報し、犯罪行為にしました。公園に隣接して菅生消防署があり、夜間の巡回をお願いしました。

この状態を放っておけないということで、自治会の中に塗装屋さんがいたので、落書き消しの日程を決めました。中学校の落書き消しのグループ(落書き戦隊ケスンジャー)もあり、一緒に落書き消しをしました。ところが、一週間もたないうちにまた落書きをされました。このときは見つけ、3月19日に消しますということだったので、約束の日を待っていました。約束通り、翌日には消えていました。これは、「約束を守った子どもたち」ということで、ブログに載せてあります。

その後は、「落書き戦隊ケスンジャー」の申し出により、落書きされても水で消せるタイプの塗装にしてもらい、ひどい落書きは発生していません。

花植

花植えにあわせて、つつじの刈り込みを自治会総動員でやっています。

公園清掃

公園にはけやきが数本あり、葉が落ちて、清掃するのが大変です。

大木枝落とし

けやきが太木になり、重機を使わないと枝落としができなくなり、お願いしてやってもらいました。殺風景になりましたが、ものすごく明るくなりました。

防災倉庫

防災倉庫を昨年3棟整備しました。

花壇の保全

花壇の枠が木なんです。一部腐って取り替えないといけないのですが、コンクリートの枠にしようということで始めています。

その他

課題ですが、高齢化が進んでいます。老人が公園の清掃をしています。あと十年もすると大変なことになるので、若返りをしたいのですが、最近の若い人はなかなか参加しません。プランコの年数が経っているので点検しないといけないのですが、今のところは問題がないようです。

菅生小学校の下校時に公園のパトロールをしています。

近くに障害者の施設があって遊びに来たり、稗原小学校の生徒が遊びや実習に来ています。明るくなったために、そういうことが盛んになりました。

田邊部会長 板津さんにお聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

永野委員 自治会、老人会、花を植える人がまざって管理運営協議会を作っているということですが、事務局はどういう人ですか。

板津会長 花の好きな人です。

永野委員 普通の使い方はどういう形ですか。

板津会長 お祭りと餅つきがメインで、団体の申込みはないです。子どもたちの遊び場として活用され

ています。

永野委員 餅をふかすのは何を使っていますか。

板津会長 ボイラーを使っています。燃料は石油で、まきより簡単です。

永野委員 公園の規則で困っていることはないですか。

板津会長 とくにはないです。将来的にはトイレをつけたいです。子どもたちが遊びに来てモトイレがなく、自治会館が開いてないときは、隣の不動産屋のトイレを使います。なかなか実現は難しいです。

福本委員 樹木、花の管理は説明でわかりました。遊具の維持、管理、万一事故が起きたときは、どこが対処するのかの管理責任はどうなっていますか。

板津会長 ブランコは時々チェックをしています。擦り減った状態ではないので、もう少し様子を見ます。事故が起こるとすれば、タコの上に登り足を滑らせて落ちるなどです。今のところ事故はありません。近くに人がいればいいですが、連絡があれば自治会で対応しようと思います。どこが対処すると決めてはいません。以前、餅つきをした時に足をくじいた事故があり、その際は自治会のボランティア保険で対応しました。

福本委員 遊具の事故は、公園の管理者と親の責任があり、その場に居合わせないとはっきりわかりませんが、このくらいなら大丈夫と思っている遊具で怪我をします。親にすると管理が悪いから、ペンキがはげていた、錆びていて手が切れたなどと言ってきます。今は訴訟時代なので、そういうことにも対処しておかないと、そのときになってからでは難しい問題があります。

目代委員 明るくないと過ごしづらいと思います。重機を使っての枝おろしは公園事務所がやったのですか。

板津会長 そうです。

目代委員 お願いしても順番まちですね。人がたくさん集まりいい公園だと思うところは、見晴らしがいいです。そういうところには、いろいろな人が集っています。

板津会長 ケヤキが2本道路側にあり、その枝はまだおとせません。いつかはやっていただけると聞いています。大部分はきれいで明るいです。

佐藤委員 この部会では最終的な目標として、公園を利用してコミュニケーションを深めたいということがあります。それを踏まえてお聞きします。餅つきをしています。やった後に近所のコミュニケーションが円滑にいったなど効果はありますか。

板津会長 参加する人が増えています。目的は顔が見えるようにすることです。自治会のメンバー全員が参加するといいますが、なかなかそうはいかなくて、孫たちを連れて来る人もいます。

佐藤委員 参加費はとりますか。

板津会長 参加費はとらないです。よその自治会からもお餅をくれとやってきますが、それもしょうがないと思っています。ただし、持ち帰りは今年から自治会の人だけにしました。

佐藤委員 ホームページをときどき拝見します。誰が見ているかわかりますか。

板津会長 カウンターをつけてないので、誰がどのくらい見ているかはわかりません。アドレスを現在変更中で、引越しをしたらカウンターをつける予定です。容量も増えます。フロントページを変えれば、カウンターが付きます。私が作っています。

佐藤委員 町内会だよりからブログも付いていて、地域教育会議のお知らせが見られたり大変良いです。

板津会長 10月から容量をアップしたので、加工ファイルも保管して見られるようになります。

佐藤委員 ラジオ体操の写真がありました。高齢者が参加をするといった話がありますか。

板津会長 呼びかけてはいますが、朝が早く老人の足は鈍かったです。最初は浸透しないです。続けることで、徐々に高齢者も入ってくると思います。

吉岡委員 コミュニティの活動が足りません。餅つき、祭りとも年に1回です。ラジオ体操は子どもだけです。一般の人を対象としたコミュニティの場を何とか作っていきたくて現在企画中です。神木にラジオ体操に詳しい人がいるので、その人に相談して進めようと思っています。

目代委員 地図を見ると、団地もあるし、昔ながらの地の人に住んでいる地域がありますね。自治会の構成は、昔ながら地域に住んでいる人や団地の人も入っているのですか。

板津会長 範囲の中に入っている人は、ほぼ9割は自治会に入っています。

目代委員 地域的には地の方だけで町会をするなど特色がありますが、ここでは、町会の役員は地元の人たちも入っているのですか。

板津会長 新しい人も、古い人も区別なく参加しています。これは順番制になっているので、当たってしまいます。区というわけ方をしており、1~23区まであります。委員は順番に回るので、均等に当たります。他の自治会はわかりませんが、うちの自治会は溶け合っています。

佐藤委員 小学校の先生が総合学習に公園を利用していると聞きましたが、きっかけは何ですか。

板津会長 そこまでは聞いてません。

吉岡委員 総合学習の授業ができたから最近来ようになったのではないですか。

田邊部会長 自治会の会員は何人ですか。

板津会長 460世帯とアナウンスしています。

田邊委員 460世帯で150人が餅つきや落ち葉拾いに集まるのはすごいです。私のところは、子どもと大人を入れて、1回集まるのは100名です。

板津会長 これには過去の歴史があります。自治会でイベントに動員する習慣があったんでしょう。

吉岡委員 32年間くらい会長が女性でした。男性にはできないことを、女性が引っ張ってやったんです。そういう癖が女性にもついていて、自治会にも女性が多く出てきます。

板津会長 8月30日に防災訓練がありましたが、やるかやらないかがぎりぎりまで決まらず、アナウンスが遅れました。そこで各戸にチラシを配布したら、120名が集まりました。他の自治会は半分しか集まらないです。正式に開催すると200人以上が参加します。

永野委員 PTAや子ども会など、若い人の団体とは連携しますか。

板津会長 昨年までは若い人の力がそんなでもなかったです。子ども会の会長が、やる気のある会長とそうでない会長で違います。今年はやる気のある会長とそれをバックアップする組織があり、若い力が集まりました。我々を第一世代とすれば、40、50代の第二世代に広げたいです。

PTAはなかなか動きません。子どものパトロールをしています。最初にロートルばかりが集まり、お母さんやお父さんが参加せずクレームをつけた人がいました。とりあえずロートルでやれば若い人が入ってくると思いましたが、なかなか入りません。

田邊部会長 PTAは学校とのつながりが強く、そちらから動きます。自治会から働きかけても動きません。あいさつ運動をしています。最近やっとお母さんたちがあいさつするようになりました。

板津会長 校長先生もお母さんたちに参加してくれと言ってくれます。母親たちは、現役でいろいろ仕事を持っています。昔は、母親は家にいましたが、最近外に出た生活習慣が違います。

目代委員 PTAは子育ての真最中で、パトロールに出る時間は子どもが帰ってくるので家にいないといけないなど、朝の旗振りなどは可能ですが帰宅時間は難しいと思います。

福本委員 公園の使い方は、自治会、町内会が混合で使っているようですが、例えば野球チームなどの

使用が重なった場合はどこに申し込むのですか。

板津会長 利用調整を自治会がしています。タコが鎮座しているので、残念ながら野球などできません。

佐藤委員 PTA に関して、つくし野セントラルパークでは自然にお母さんが活動に参加し、小学校との連携もうまくいっていたのでいいなと思いました。

福本委員 地域教育会議などに出ても、まったく話しが噛み合いません。父兄と学校は、常に学校のことでも話し合っています。誰々がこうと問題を出すとすぐ話がつきますが、何のことかわからないので、自然に欠席が多くなります。町内会、自治会から行っても、なかなか入り込めません。

田邊部会長 最後に区民会議でこれから取り組むにあたり、何かアドバイスや課題があればお願いします。

板津会長 トイレは我々の公園の今後の課題です。先ほど吉岡委員が言われたように、餅つきとお祭りがメインでその間がないので、例えば老人会をメインにして昔遊びをするなど、大人と子どもが接する場をつくることあるかと思います。

田邊部会長 各地域において、各層のコミュニケーションはどうやっていくかが大きな課題です。

板津会長 自治会の中で DVD の映画鑑賞会をしています。そういうことで、若い人と老人との接点を作りたいです。接点を作る場をつくることです。パソコンクラブは老人が多かったですが、若い人が入ってくるようになりました。いろいろな催しを計画し、いろいろな人と交流する場をつくりたい、それによって、若い人も老人も親密になると思っています。そういう新しい試みに対して、金銭的な支援があるとありがたいと思っています。

### つくし野「公園あそび応援隊」(つくし野セントラルパーク)

江頭氏 つくし野セントラルパークは 17,226 m<sup>2</sup>、約 5,000 坪の非常に大きな公園です。子どもたちが野球やサッカーをする広々としているところです。つくし野地区は 1 丁目から 4 丁目まであります。宮前区と同じく坂が多く、セントラルパークに来るためには、4 つの町会のうち 3 つは大きな道路をまたぎ、端から来ることとなります。

配布資料の真ん中に、「公園あそび応援隊関係者のみなさま」という文面があります。「フラダンスのタベ」の開催とその親睦会のお知らせです。先ほど、コミュニティの話がありましたが、ここには、私どものような高齢の者と、若いお母さんもいます。

スタートの発足は何かといいますと、イベント系の女性たちの有志、中には子ども会に入っている人もいますが、子ども会の名前でやるのではなく、有志として子どもの安全について何かできることはないかということで、私が参加している「クラブはんどれっど」という大人のグループがあるんですが、その会ではなく私個人に話が来ました。そういうことなら、元気な人で時間がとれる人がいるので一緒にやろうというのが発端です。

公園あそび応援隊がどんなことをするのかというと、水曜日は午前中で子どもたちの授業が終わり早く帰ります。できるだけ地域の公園に来てもらおう、そのためには、安全を確かめた方がいいだろうということで、われわれとお母さんで見守りのようなことができないか、学校を使って打ち合わせをしました。校長先生も協力的で、会議室を自由に使い、子どもの安全ということをお願いしますということでスタートしました。

回を重ねる中で、水曜日の午後に 2 ヶ月間やろうと始めました。前半と後半に分け、3~4 名で活動することになりました。1~4 丁目の広域な人が、趣旨に賛同して会に登録し、スタッフが割り振りをして、都合の悪い場合は変更してもらい始めました。用具が必要だということで、目につくようなもの、安全のための救急箱、記録のメモが必要だなど、準備するものが出てきました。

雨の日はそれぞれの責任者が判断してグループに連絡し、学校の教頭先生に連絡して、雨のため、セントラルパークでの公園遊びはありませんと校内放送をしてくれます。

今から4年ほど前に、子どもへの事件、事故がありました。地域では窃盗、痴漢などの事件がありました。そういう中で、とりあえず子どもの安全を確保しようと始めました。地域では自治会を中心にしてやっています。子どもの登下校時には、別のグループが実施しています。その中には、こちらに関わっている人もいます。

玉川学園やつくし野は高齢のパーセントが高いです。「クラブはんどれっど」では、将来のためにも、隣近所や近場の人を知っておくことが必要だろうという話が出ました。次の世代に言葉が通じるようにするためのいい方法がないかということで、公園あそび応援隊とドッキングし、はんどれっどのメンバーも、公園に近い人は参加しています。

「レスキュー隊」は、セントラルパークがある地域の町会がレスキュー隊を組織し、夜の見回り、公園の簡単な清掃、花壇の整理をしています。木の伐採は市の公園管理課がしています。機械を使っての除草は年間5回やっています。セントラルパークは樹木もきれいになっています。その他、「青少年健全育成委員会」や、組織に入っていない地域の人も加わっています。

「クラブはんどれっど」は、つくし野センターで会場を借り、市民の有志が申し込み、5回の講座を開催しました。講座が終了時点で、せっかくここまで勉強したので続けて何かをすることはないと世話をしていた人が話しをし、6人が集まり、打ち合わせを3回し、4回目に具体的な組織ができてきました。それが4年ほど前で、現在は27名でほとんどが60歳以上です。この会のメンバーは男性のみで、男性であることが資格です。クリスマス会、桜を見る会などには、配偶者や参加希望者を連れてきてよいことになっています。月1回の定例会は男子のみです。いろいろな業種の人に参加しており、定例会で講話してもらうのに事欠きません。近くの喫茶店を毎週借り切って2時間ほど話をします。そのときは、15人程度が参加します。浅草に行ったり、歴史散策をしたり、有志が企画して参加します。別の人が映画鑑賞会などを企画します。いい意味で、ただ話しを聞くだけでなく参加型です。コミュニティを深めるという意味で、参加型の会を催すのはよいのではないかと思います。

先ほど話しのあった、学校との関係ですが、学校には喜んでもらっており、校長先生などが公園を見にきます。はんどれっどの会に校長が参加することもあります。

自治会との関係ですが、連携、協力しています。協力が最近強くなったのは、4町会長のうち3つの町会長がクラブはんどれっどの会員だったんです。もう一人の人は残念ながら女性でした。

佐藤委員 4年間活動しているということですが、私が行ったときは、自分の子どもを遊ばせながら見回りをしていました。朝晩のパトロールをしてくれてありがたいと言っていました。始められてから、どれくらいしてから若いお母さんが参加したのですか。

江頭氏 スタートの時からスタッフには女性が参加しています。佐藤さんが作成したメモを見ると、スタッフが対応したのではなくその日当番の人が話しをして、きちんとしたメモが作られているので、活動が地に着いているなど安心しました。

佐藤委員 皆さんアットホームな感じで、普通、違うところからくると敬遠しますが、そういうことがなく受け入れてくれました。帰りにも声をかけてくれるので、大変溶け込みやすかったです。公園で遊んでいる子ども、自然に受け入れる体制があるので、安心して遊べると感じました。

江頭氏 現在30人弱が登録しています。

目代委員 青少年健全育成委員会とはどういうものですか。行政の組織ですか、地域で出来ている組織

ですか。

江頭氏 青少年健全育成委員ですね。

事務局 恐らく川崎の青少年指導員会と同じだと思います。

吉岡委員 大きな企画はクラブはんどれっどがするのですか。

江頭氏 企画はスタッフと言われる方がやります。スタートから続けている人が4人います。

永野委員 応援隊は2005年にスタートですね。クラブはんどれっどや女性有志はそれ以前からあるのですか。前から活動していたレスキュー隊や青少年健全育成委員などを含めて結成されたということですか。

江頭氏 クラブはんどれっども同時期です。レスキュー隊は地域の安全ということで、夜回りやラジオ体操などを行っている自治会の中の組織です。クラブはんどれっどの中に兼ねたメンバーがいたので、自分たちのそばだから、レスキュー隊もいつでも協力できるよという形で参加しました。

永野委員 宮前区は公園愛護会がありますが、それとは違い、使うことを応援するんですね。

江頭氏 ただ、レスキュー隊は除草をしたり花壇をつくることもやっています。他の3つの町会が関わることはないです。道路を隔てているので、距離的な問題があります。

田邊部会長 川崎市は助成金が出ますが、つくし野はそういうことはないのですか。

江頭氏 樹木などには出ていますが、公園の管理のために出ているという話は聞いていません。今回お話を受けて、クラブはんどれっどのメンバーで応援隊に入っている人に、活動が苦痛になるか聞いてみたら、苦痛にはならないと言っていました。課題があるか聞いたら、その方の子どもが遠く、孫が近くにいません。小さい子との関わりがないけれども、ここにきています。やはり、子どものいる親がここに来るようになるといいなと言っていました。もっと交流できるといいと言っていました。

田邊部会長 4つの自治会のうち、3人は入っている。宮前区は自治会長、町内会長が出る会が、年間に530回あると聞いたんです。

福本委員 7月に23回というのが多かった。ポジションにもよりますが、月に6、7回ではないですか。それにしても多いです。

江頭氏 自治会の報告を見ると、会長が出席したところ、副会長が出席したところ、委員が出席したところなどがメモで見られます。1人の会長に負担がいかないように配慮していることが分かります。

福本委員 パークを機軸にして、いろいろなサークルが出来ています。将来は大きな一つの形にならないですか。数が増えると、勢力争いのようなものが出てくるのではないですか。

江頭氏 細かいサークルが出来て困るのは、施設を管理している、委託をしているところです。抽選しないといけないです。クラブはんどれっども月に1回定例会の会議をつくし野センターでしていますが、抽選か空きを見てやるか、曜日を決めています。その通りにはいかないです。

福本委員 いろいろな形の組織ができたときに、そこに力関係ができるのではないですか。

江頭氏 そうでもないです。

福本委員 パラバラに使用する場があるからいいですが、パークの場合は、そこを利用するために集まるわけですから、公平に扱われているんでしょうが、将来増えたら大変になるのではないですか。

江頭氏 公園については大丈夫です。規制があり、野球やサッカーはできないですし、火を使うのもダメです。

田邊部会長 野球も十分にできるのではないですか。

江頭氏 草野球のような形でやることは見かけられないです。それだけで面積をとってしまいます。

福本委員 広いからいろいろな組織ができるんで、宮前にはそんなに広い公園はないので問題ないですね。うらやましい話です。

佐藤委員 これまでの会議で、犬を飼っている人のマナーの問題などが出たので、利用されている方に聞いたんですが、応援隊の人から見てそんなに悪くないと聞きました。

江頭氏 犬は好きな人と嫌いな人が分かります。春先に雑草が伸びると、糞をされると衛生的な面で問題なので、早く刈ってくれないかと思います。

永野委員 公園での具体的な祭やイベントを詳しく知りたいです。火を使えないということで、具体的にはどんな祭りをしていきますか。

江頭氏 スタッフ、メンバーに登録する人が安心できるようになっています。見回りは公園の遊び場の安全の見回り、見守りです。子どもと一緒に遊ぶのは、見守りができる範囲において、当番の判断でお願いしますと、緩やかになっています。事故も保険に入っていて、1万円を越えると保険を出します。案内を出すときは、こちらのスタッフ、あるいは応援隊が責任を持つものではないと必ず入れています。

目代委員 公園の使われ方で、盆踊りなどに使ったりしているのですか。

江頭氏 あの辺は桜が成瀬にかけてきれいですが、花見をして簡単なイベントをすることがあります。お弁当を食べビールを飲みます。火は使いません。応援隊が来ているときに、紙飛行機を作るのがうまい人がいるので、告知すると子どもたちが集まります。おうえん隊が主催するときもありますし、こういうことをやりたいと話があると、応援隊ではなくても、来てやってもらうことがあります。

田邊部会長 情報が密なんですね。

江頭氏 あまりとらわれずに、こういうことをやりたいとなると、知っている人がいるのかなと、フリーで探します。

永野委員 人口が6,000人で、大きな公園ですから、みんなの居場所になっているのですか。

江頭氏 宮前で言うと、鷺沼の向こうに大きな公園があっても、こちらの人が行けるかというところに行けませんよね。バス通りがあり、その向こう側に3つの町会があり、公園を囲むのは1つの町会のみです。車が通る道を横断しないとイケないので、交通の安全と公園の安全がないとイケません。

事務局 公園の中に、イベントしますというのを衆知する掲示板はあるのですか。

江頭氏 ないです。口コミや関係する人に事前にチラシを配ります。

佐藤委員 小学校にチラシを配るわけではないのですか。

江頭氏 子どもに関係があるものは、学校にもって行けば配ってくれます。PTAも入っています。PTAとうまくいく方法は学校との関係です。校長、教頭が地域の感覚に浸り、地域がやっているから親御さんもこうですよねと地域に向けてあげる。それをしないと、町会長が地域でやるから、PTAから何人来てくれと言っても、親御さんには抵抗がありますね。だから学校からしてもらう。そうすると、市民館や区役所の役割が大きいです。校長と連携をとりながら、区の中ではこういう活動があり、それには子どもも関わっているので、学校でもどうでしょうかと打ち出してあげる。学校でも区役所から、市民館から、こういう話があったとなれば、頭も柔軟になってきます。今のところ、区役所も市民館も、学校と連携があまりないです。教育委員会もなかなか動きが取れません。今年から、教育委員会の職員が区役所に来るようになったのでよかったです。

事務局 今年からこども支援室が区役所にできて、だいぶ強化されました。

福本委員 セントラルパークは、造成するときに東急が確保しそれを市が買い上げたのか、市はまったく企画がなかったところを買い上げたのかどうでしょう。

江頭氏 昭和 40 年代以前からのことです。小さな公園はあるのです。詳しくはわかりませんが、市の考えもあったのでしょうか。

事務局 まちづくり全体をする上で、公園、広場は大事ですから東急も関わったと思います。

佐藤委員 公園の地下に、防災用にかなりの量が貯水されていると聞きました。

江頭氏 昨年トイレを改修しました。遠足に来て、トイレはここにあると言えます。

佐藤委員 すごく快く受け入れてくれて、話を聞いても、有志だからこそできると言っていたので、自治会で、何とかで役割があって来ると負担になるけれど、自分が楽しくやりたい、負担にならず楽しくが、続けるコツと思いました。

江頭氏 ベストを着ていると、子どももスタイルだけで安心します。「ありがとう」が言える若いお母さんもいます。

田邊部会長 ありがとうございます。

## 2. その他

今後の日程

- ・ 第 5 回部会 10 月 27 日（月）6 時～ 今日の議論をもとに、理想とする公園像についての検討を深める。
- ・ 全体会 11 月 19 日（水）向ヶ丘出張所で全体会を開催予定。

### 確認事項

#### 1. 公園での活動に関する取組事例

- ・ 町田市つくし野「公園あそび応援隊」と鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会の事例報告を受け、質疑応答、意見交換をしました。
- ・ 次回、これらの事例を参照し、宮前区の理想とする公園像について意見交換を行うことになりました。

#### 2. 今後の日程

- ・ 第 5 回公園・地域づくり部会を 10 月 27 日（月）に開催し、11 月 19 日（水）の全体会での報告に向けた、まとめの作業を行うことになりました。

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。

全体会での意見など

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。  
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している  
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。  
うち、公園緑地管理運営協議会：51  
公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている。

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から地域の多様な世代が利用しており、顔見知りの関係ができている。また、利害が対立しないよう自然と棲み分けができている。

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている。

解決すべき課題

◆地域コミュニティなどに関する課題  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

◆公園そのものの課題

具体的な課題解決策